



カボチャ

F1 くりゆたかDX

デラックス

(MKS-K1586)

環境の影響を受けにくい
多収粉質の大玉品種



vilmorinmikado.jp  



カボチャ

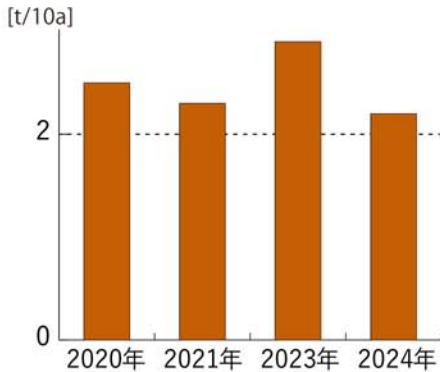
デラックス

F1 くりゆたかDX (MKS-K1586)

環境の影響を受けにくい多収粉質の大玉品種

安定した収量性

気象変動が激しい中、安定して2t/10a以上の収量性。
暑さに強く、猛暑・水不足の環境下でも収量が安定!



同一ほ場での収量年次比較

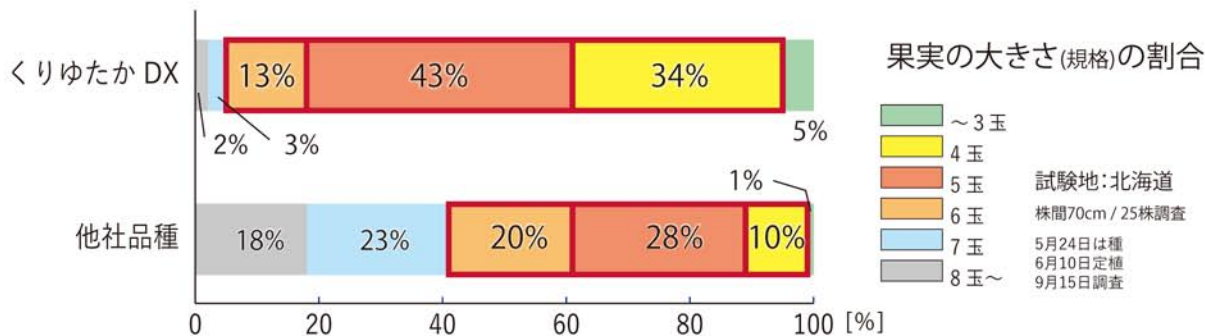
試験地:北海道
各10株ずつ調査し、10aあたりの収量に換算した。

※ 2022年は未調査。



安定した肥大性

猛暑・水不足の環境下でも5玉中心(4~6玉)でよく揃い、気象変動のあおりを受けにくい。
8玉以下の小玉発生率は低く、ハンドリングがしやすい。



試験地:北海道
株間70cm / 25株調査
5月24日は種
6月10日定植
9月15日調査

粉質で食味が良い

くりゆたかDXは高収量でありながら、食味が良い。

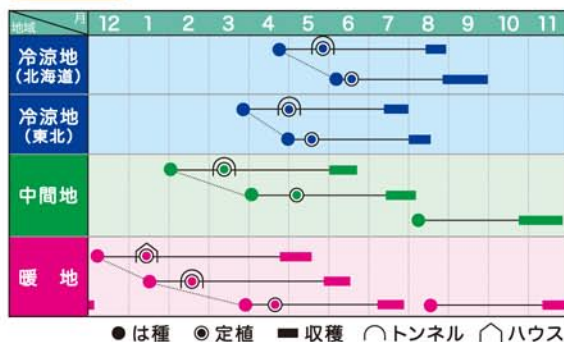
主な特長

- 肥大性に優れる多収性の大玉カボチャ。
- 環境の変化の影響を受けにくく、安定した収量性がある。
- 草勢はやや強め、初期は節間が短く生育する。
- 交配後50日前後で収穫となる(積算温度約1,000°C)。
- 果実は5玉中心でやや大きく、よく揃う。
- 粉質で食味が良い。

注意点

- 定期的な銅剤の散布を実施する。
- 生育後期に草勢がやや落ちやすい傾向にあるため、適宜追肥を行う。

作型図



掲載内容の複製やデータ、写真の無断転用を禁止します。掲載の試験結果や数値等は弊社の試験結果です。栽培条件等により変動することがあり、栽培の結果は保証しかねます。